

問題 I

以下の文章の空欄 (1) (2) から (7) (8) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ケ) に関連する設問 1 から 9 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

第二次世界大戦が終わった後、アメリカ合衆国を中心とする西側の自由主義陣営とソ連を中心とする東側の社会主義陣営の対立が深まり、^(ア)「冷戦」とよばれる状況が明確になった。社会主義陣営に属する東欧諸国は、ソ連を模した (1) (2) に基づく政治経済体制を確立していった。他方で、自由主義陣営においては、社会主義勢力の拡大を阻止するため、^(イ)アメリカ合衆国がヨーロッパ諸国への経済援助計画を表明した。このマーシャル=プランによる援助資金を受け入れるために、西欧諸国は1948年に (3) (4) を設立した。東西対立は、ヨーロッパにとどまらず、世界各地に広がった。その象徴的な出来事としては、1950年に始まった^(ウ)朝鮮戦争を挙げることができる。

^(エ)1950年代半ばには、西側の北大西洋条約機構に対し東側のワルシャワ条約機構が対峙する構図ができた一方、東西対立は緩和の方向に向かった。その背景には、1953年のスターリンの死後、ソ連の外交政策が「雪どけ」と呼ばれる平和共存路線へ転換し始めたことがある。1955年にスイスで米・英・仏・ソの首脳が集まって会談した後、ソ連は西ドイツと国交を結んだ。1959年には、ソ連のフルシチョフ共産党第一書記がアメリカ合衆国を訪問し、キャンプ=デーヴィッドで米ソ首脳会談を行った。他方で、ソ連の路線変更を受けて、^(オ)東欧諸国がソ連からの自立と自由化を試みたが、ソ連の東欧諸国への統制は緩まなかった。

米ソ関係は、1960年の (5) (6) によりいったん緊張関係に戻ったものの、1962年のキューバ危機を克服すると、^(カ)再び緊張緩和の方向に向かった。^(キ)ヨーロッパでの緊張緩和も進展した。西ドイツのブラント政権は、ソ連や東欧諸国との関係改善をはかる東方外交を展開した。また、ソ連が提案していた^(ク)全欧安全保障協力会議が1975年に開催され、ヨーロッパ諸国、^(ケ)アメリカ合衆国およびカナダの首脳が参加して、(7) (8) 宣言を採択した。

[設問 1]

下線部 (ア) に関連して、冷戦の開始前後に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(9) (10) にマークしなさい。

- [01] イギリスでは、1945年に労働党のアトリーが首相になった。
- [02] イタリアでは、1945年以降キリスト教民主党が政権を担当した。
- [03] ドイツ連邦共和国では、1949年に社会民主党のアデナウアーが首相になった。
- [04] ドイツ民主共和国は、1949年に社会主義統一党を中心に樹立された。

[設問 2]

下線部 (イ) に関連して、20世紀半ばの同国に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(11) (12) にマークしなさい。

- [01] アイゼンハワー大統領は、退任に際して「軍産複合体」について警告した。
- [02] 連邦最高裁判所は、1954年のブラウン判決により公立学校での人種隔離を違憲とした。
- [03] 共和党上院議員マッカーシーらは、共産主義者や左翼運動を攻撃する、いわゆる「赤狩り」を行った。
- [04] 1947年の国家安全保障法により、国家安全保障会議、国防総省などが設立された。

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関連して、朝鮮戦争中に起きた（a）から（c）の出来事を古い順に正しく並べたものを〔01〕から〔06〕より選び、その番号を

(13)	(14)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 国際連合軍が仁川に上陸した。
- （b） 朝鮮民主主義人民共和国軍が釜山近郊にせまった。
- （c） 中国が人民義勇軍を派遣した。

- 〔01〕 （a）→（b）→（c）
- 〔02〕 （a）→（c）→（b）
- 〔03〕 （b）→（a）→（c）
- 〔04〕 （b）→（c）→（a）
- 〔05〕 （c）→（a）→（b）
- 〔06〕 （c）→（b）→（a）

〔設問 4〕

下線部（エ）に関連して、同時期の日本に関する（a）から（c）の出来事を古い順に正しく並べたものを〔01〕から〔06〕より選び、その番号を

(15)	(16)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） 日本の国際連合加盟
- （b） 日ソ共同宣言の調印
- （c） 自由民主党の結成

- 〔01〕 （a）→（b）→（c）
- 〔02〕 （a）→（c）→（b）
- 〔03〕 （b）→（a）→（c）
- 〔04〕 （b）→（c）→（a）
- 〔05〕 （c）→（a）→（b）
- 〔06〕 （c）→（b）→（a）

〔設問 5〕

下線部（オ）に関連して、東欧諸国に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(17)	(18)
------	------

 にマークしなさい。

- 〔01〕 ポーランドでは、1956年にソ連軍がボズナニでの反政府・反ソ暴動を鎮圧した後、ゴムウカの指導のもとで一定の自由化を進めた。
- 〔02〕 東ドイツは、1961年に西ベルリンへの移動を防ぐために東西ベルリンの境界に壁を築いた。
- 〔03〕 ルーマニアは、1964年にソ連と距離をおく自主外交路線をとった。
- 〔04〕 1968年の「プラハの春」に対するワルシャワ条約機構軍の介入を正当化した方針は、ブレジネフ＝ドクトリンと呼ばれるようになった。

[設問 6]

下線部（カ）に関連して、安全保障に関する米ソの交渉についての記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(19)	(20)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 1963年、アメリカ合衆国とソ連は、両国首脳間で直接通話できる回線を設ける直通通信（ホットライン）協定を結んだ。
- [02] 米ソ間の第1次戦略兵器制限交渉の結果、1972年に核兵器現状凍結協定と弾道弾迎撃ミサイル制限条約が結ばれた。
- [03] 1973年には、米ソ間で核戦争防止協定が結ばれた。
- [04] 米ソ間の第2次戦略兵器制限交渉は、1979年のソ連によるアフガニスタン侵攻のため、調印に至らなかった。

[設問 7]

下線部（キ）に関連して、1970年代におけるヨーロッパでの緊張緩和に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(21)	(22)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 西ドイツは、1970年にソ連との間で武力不行使条約を結んだ。
- [02] 西ドイツは、1970年にチェコスロヴァキアとの間でオーデル＝ナイセ線を国境と認める国交正常化条約を結んだ。
- [03] 米・英・仏・ソは、1972年にベルリンの現状維持を認める協定を結んだ。
- [04] 東西両ドイツは、1972年に相互承認を行い、翌年ともに国際連合に加盟した。

[設問 8]

下線部（ク）に関連して、ヨーロッパ諸国のうち1961年にソ連と断交していた

(23)	(24)
------	------

 は同会議に参加しなかった。

(23)	(24)
------	------

 に入る最も適切な語句を語群から選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 9]

下線部（ケ）に関連して、1970年前後におけるアメリカ合衆国とアジアに関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(25)	(26)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] アメリカ合衆国のニクソン大統領は、同国によるアジアでの軍事介入を縮小する外交方針を1969年に発表した。
- [02] アメリカ合衆国のキッシンジャー大統領補佐官は1971年に訪中し、米中和解の足がかりをつくった。
- [03] 1972年のニクソン訪中は、その後の中国の国連代表権交替をもたらした。
- [04] 米中関係の改善を受けて、1972年の田中角栄首相の訪中では、日中共同声明が調印された。

〔語群〕

- | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|----------------|
| 01. アルバニア | 02. ウィーン | 03. オスロ | 04. 革新主義 |
| 05. 経済協力開発機構 | 06. 五月危機 | 07. 国際通貨基金 | 08. 国際復興開発銀行 |
| 09. コペンハーゲン | 10. 社会民主主義 | 11. ジュネーヴ | 12. 新絶対主義 |
| 13. 人民民主主義 | 14. スイス | 15. スエズ戦争 | 16. スtockホルム |
| 17. スプートニク=ショック | 18. 大陸間弾道ミサイル開発 | | 19. チェコスロヴァキア |
| 20. 偵察機撃墜事件 | 21. ハンガリー | 22. パン=スラヴ主義 | 23. ブルガリア |
| 24. ヘルシンキ | 25. ベルリン封鎖 | 26. ユーゴスラヴィア | 27. ヨーロッパ経済共同体 |
| 28. ヨーロッパ経済協力機構 | 29. ヨーロッパ中央銀行 | 30. 連邦主義 | |

問題 II

以下の文章の空欄 (27) (28) から (31) (32) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (コ) に関連する設問 1 から 10 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

格差、不平等、差別は、古代から存在する重要な課題である。^(ア)多くのの人々を支配する統治機構の出現や身分制度の形成などにより、様々な上下関係が生まれた。たとえば紀元前1500年頃には、インドと西アジアを結ぶ交通の要衝である (27) (28) を通って、アーリヤ人が中央アジアからインドに進入した。アーリヤ人が先住民と交わって社会が形成される過程で、ヴァルナ制と呼ばれる身分的上下観念が生まれた。

ギリシアでは紀元前 8 世紀頃に、ポリスと呼ばれる都市国家が多く作られた。ポリスの主な住民は市民と奴隷であり、市民は貴族と平民に区別された。貴族は、広い農地と多くの奴隷をもち、ポリスの官職を独占した。そして平民も貴族と同様に先祖から受け継いだ所有地である (29) (30) を保持し、奴隷を使って農業に従事していた。対照的に奴隷は、人間としての人格が否定され売買の対象となった。

やがて、平民は同じ市民として貴族との政治的平等を達成し、^(イ)国政への直接参加による民主政が実現した。その背景には、平民の^(ウ)戦争への参加が大きく関わっている。とはいえ^(エ)古代ギリシアの民主政治は、常にうまく機能していたわけではない。様々な要因から、ポリスにおける民主政治は混乱し、紀元前 4 世紀にはポリス間での対立・抗争が繰り返された。紀元前 4 世紀後半には、アテネ・テーベを中心とするギリシア連合軍がマケドニア王国に敗れ、多くのポリスがマケドニア王国に服属することとなった。

ギリシアだけでなくイタリア半島のローマでも都市国家が生まれた。^(オ)ローマで採用された共和政は、アテネの民主政とは異なる。また、^(カ)ローマの指導者は、領土の獲得を目指し、イタリア半島内外の他地域を征服していった。南イタリアにある (31) (32) を占領することで、ローマはイタリア半島の統一を達成し、^(キ)やがて地中海全域を支配する帝国となった。

^(ク)ユダヤ教から発したキリスト教は、ローマが支配地域を拡大する中で誕生した。キリスト教は、貧富の格差や身分の違いを超えて、神の愛が全ての人々に及ぶと説き、多くの信者を獲得していった。キリスト教がローマ帝国で普及していく中、^(ケ)その正統教義をめぐる論争が生じた。最終的には三位一体説を中核とする教義が正統なものとされ、他の考えは異端として排斥された。ローマ帝政末期には、^(コ)教父と呼ばれるキリスト教思想家たちが正統教義の確立に努め、神学の発展に貢献した。

〔設問 1〕

下線部 (ア) に関連して、世界史に登場した様々な上下関係についての記述として正しいものを下から選び、その番号を (33) (34) にマークしなさい。

- [01] インドの身分制度を表す「カースト」という語は、イタリア語の家柄・血統を意味する「カスタ」に由来する。
- [02] 中国では漢の武帝が、九品中正制度を用いて官吏の登用を行ったが、有力な豪族の子弟が選ばれるのが慣例となった。
- [03] 中世西ヨーロッパの荘園制における農奴は、移動の自由がなく、結婚税や死亡税を領主におさめる義務を負うなど、様々な自由が制限された。
- [04] 中世ヨーロッパでは、手工業者たちが同職ギルドを作り、親方と職人はその組合員になった。

[設問 2]

下線部（イ）に関連して、アテネの直接民主政を支える仕組みについての記述として正しいものを下から選び、その番号を

(35)	(36)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 全体集会である民会は、18歳以上であれば参加・発言でき、多数決で国家の政策が決定された。
- [02] クレイステネスが創設した500人評議会は、民会を補佐し、日常の行政を担当した。
- [03] 民衆裁判所では、選挙で選ばれた陪審員たちが投票により判決をくだした。
- [04] 一般市民は、裁判を通して役人の不正を告発することはできたが、政治家の不正を告発することはできなかった。

[設問 3]

下線部（ウ）に関連して、紀元前 5 世紀にギリシアのポリスは、領土拡大を目指すアケメネス朝ペルシアの侵攻を受けた。以下の（a）から（c）の出来事を古い順に正しく並べたものを [01] から [06] より選び、その番号を

(37)	(38)
------	------

 にマークしなさい。

- （a） テルモピレーの戦い （b） プラタイアの戦い （c） マラトンの戦い

- [01] （a）→（b）→（c）
- [02] （a）→（c）→（b）
- [03] （b）→（a）→（c）
- [04] （b）→（c）→（a）
- [05] （c）→（a）→（b）
- [06] （c）→（b）→（a）

[設問 4]

下線部（エ）に関連して、この時代の建築では調和と均整の美しさが追究された。ゼウス神殿に代表される、列柱の上部に複雑な装飾が施された建築様式を、

(39)	(40)
------	------

 式と呼ぶ。

(39)	(40)
------	------

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 5]

下線部（オ）に関連して、ローマ共和政に関する記述として正しいものを下から選び、その番号を

(41)	(42)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] リキニウス・セクスティウス法によって、二人のコンスルが平民から選ばれることが定められた。
- [02] ホルテンシウス法で、平民会で決まったことが、元老院の認可を経ずにローマの国法となることが公に定められた。
- [03] 護民官は、元老院の決定を拒否できたが、コンスルの決定には従わなければならなかった。
- [04] ディクタトルは、非常時に設置され、一年の任期に限られたが一人で全権を掌握できた。

[設問 6]

下線部（カ）に関連して、ローマによる他地域の征服や統治に関する記述として誤っているものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

- [01] ローマに征服された諸都市の中には、ローマとの間でそれぞれ内容の異なる権利・義務を定めた同盟関係に組み込まれたものがあった。
- [02] ローマは重要な征服地域に市民を入植させ、植民市を建設した。
- [03] イタリア半島の統一後、ローマはコルシカ島征服を皮切りに、属州と呼ばれる征服地を獲得していった。
- [04] 度重なる海外遠征で農民層が没落したことを受け、グラックス兄弟は、護民官となって自作農の再興に尽力した。

[設問 7]

下線部（キ）に関連して、中国の漢王朝の時代に という人物が大秦に派遣されたことが、『後漢書』に記されている。大秦はローマを指すとされる。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問 8]

下線部（ク）に関連して、キリスト教とユダヤ教に関する記述として正しいものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

- [01] ヘブライ人は、ダレイオス 1 世のユダ王国征服にともなってバビロンに連れ去られるなどの苦難を経る中で、選民思想を発達させていった。
- [02] ダヴィデ王の子であるソロモン王は、イェルサレムに神ヤハウエの神殿を建設した。
- [03] 救世主を意味するキリストとメシアという言葉は、キリストがヘブライ語、メシアがギリシア語に由来する。
- [04] ユリアヌス帝はキリスト教以外の宗教を禁じた。

[設問 9]

下線部（ケ）に関連して、キリスト教では、三位一体説の正統教義化への反発から 教会が成立し、そこからエチオピア教会がわかれた。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

[設問10]

下線部（コ）に関連して、キリスト教思想家として知られ、『教会史』を著したローマ帝政末期の人物は である。 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔語群〕

- | | | | |
|--------------|--------------|-----------------|-------------|
| 01. アウグスティヌス | 02. アクティウム | 03. アクロポリス | 04. アゴラ |
| 05. アルメニア | 06. イオニア | 07. エウセビオス | 08. エピクテトス |
| 09. オストラコン | 10. カイバル峠 | 11. カルタゴ | 12. 甘英 |
| 13. クチャ | 14. グプタ | 15. クレーロス | 16. ケルン |
| 17. コプト | 18. コリント | 19. コンスタンティノープル | 20. 蔡倫 |
| 21. サールナート | 22. シリア | 23. タレントウム | 24. 張角 |
| 25. 張衡 | 26. ドーリア | 27. ネアポリス | 28. パータリプトラ |
| 29. バビロン | 30. バロック | 31. 班固 | 32. 班超 |
| 33. ファランクス | 34. フェイディアス | 35. プトレマイオス | 36. プリニウス |
| 37. ヘイロータイ | 38. ベネヴェントウム | 39. ペルセポリス | 40. ポセイドニア |
| 41. リウィウス | 42. ローマ | | |

問題Ⅲ

以下のAからGは、一般に「革命」といわれる政治社会変動に関連した資料である。宣言や布告、新憲法、演説などが含まれており、適宜省略がなされている。また、文中の〔ア〕から〔オ〕には国名が入る。これらの資料に関連する設問1から9について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔資料A〕〔ア〕共和国暫定憲法

7月14日に〔ア〕軍が始めた人民的運動は、人民の協力と支援のもとに、人民の主権を目指し、市民の権利を守り、維持するとともに、それを妨げるような動きを阻止しようと努めている。

最終的に打倒されることになったこの国の前体制は、政治的腐敗に甘んじ、多数の意思や人民の利益に反して国を支配した者たちが権力を握っており、その統治の目的は彼ら自身の利益を満たし、植民地主義の利益を守り、その目的を実現することであったので、(…)君主制の終焉と〔ア〕共和国設立が実現した。

〔資料B〕大統領就任演説

私は人民の意思によって大統領になった。(…)二か月前、このマイダンに、〔イ〕中の広場や通りに数百万の人々が出た。(…)勝利者は、全ての〔イ〕市民である。我々は公正な選挙を勝ち取り、12月26日に我々は運命と行き違うことはなかった。(…)私は、全〔イ〕の大統領である。ドンバスや沿ドニエプルの鉱山、黒海の港湾、ガリツィアの通商路が稼働することに責任がある。(…)ヨーロッパへの一步一步——これは、数百万の〔イ〕人にとっての新しい可能性である。

〔資料C〕〔ウ〕＝イスラーム共和国憲法

第一条 〔ウ〕政体はイスラーム共和制である。(…)

第五七条 〔ウ〕＝イスラーム共和国の統治権は立法、行政、司法の三権からなり、それらはイマームの監督下に置かれ、(…)三権の相互関係は大統領が決定する。

〔資料D〕土地に関する布告

一、地主的土地所有は、あらゆる買取金なしに、ただちに廃止される。(…)

三、今後全人民に属することになる没収財産を、いささかでも損傷することは、革命裁判所によって処罰されるべき重大な犯罪と宣言される。(…)

四、偉大なる土地改革を実現するための指針として、憲法制定会議が最終的に解決するまでのあいだ、(…)農民要望書が、どこでも用いられなければならない。

〔資料E〕〔ウ〕農村協同組合大会における国王の演説

今ここで、私は国王としての責任において、そして〔ウ〕国民の権利と尊厳を守ると誓った誓約を順守するべく、善神と悪神の闘いの最中であってどっちつかずの傍観者であることはできないのである。(…)私が〔ウ〕の国王として、そしてまた、三軍の長として、国民投票にかけ、その確認のために、媒介なしの直接的な形で、〔ウ〕国民の肯定的判断を期待する諸原則とは、以下の通りである。

一、(…)土地改革を以て、地主・小作体制を廃止すること

二、〔ウ〕全土にわたる森林の国有化法案の承認

[資料F] エミリアノ＝サパタ「アヤラ計画」

圧倒的多数の〔エ〕の村落と市民が、自分の足が踏みしめる以上の土地を所有しておらず、そのために自分の社会的条件を改善することがまったくできず、産業や耕作に従事することもできない。それは、土地と山林と水利がごく少数の者の手に独り占めされているからである。この理由にかんがみて、これらの土地と山林と水利を大量に所有する地主から、その独占物の三分の一を、前払いで補償したうえで収用する。

[資料G] 権力の移譲とプロレタリア独裁の目的に関する〔オ〕社会党と革命統治評議会の宣言

〔オ〕のプロレタリアは、今日から自らの手にすべての権力を掌握する。(…)パリ講和会議は(…)国土のほぼすべてを軍事占領(…)することを決定した。(…)このような状況において〔オ〕革命を自らの手で救済するためには、一つの手手段しか残されていない。それはプロレタリア独裁と労働者・貧農による支配である。

プロレタリア独裁にとって決定的な基本条件是、プロレタリアの完全なる統一である。まさにこれゆえに、歴史的必然が命じるところにより、〔オ〕社会民主党と〔オ〕共産党は完全な合同を宣言する。

(…)ロシアのソヴィエト政府に対して理念的、精神的に完全に共通であることを宣言し、ロシアのプロレタリアに軍事同盟を提案する。

[設問1]

資料Aは、アラブ民族主義を背景に、軍のクーデタで王政が廃止された際に発表された〔ア〕の暫定憲法であり、これを機に中東の軍事同盟は中央条約機構と改称した。〔ア〕に関する記述として、誤っているものを下から選び、その番号を にマークしなさい。

[01] 隣国の革命が波及することを恐れ、1980年に戦争に訴えた。

[02] 1979年から2003年まで支配したこの国の独裁政権は、イスラーム教シーア派によって支えられていた。

[03] 隣国を占領した結果、国際連合で撤退要求が決議され、アメリカ合衆国を中心とした多国籍軍による軍事攻撃を受けた。

[04] この国の独裁政権が戦争で倒されたのち、日本は自衛隊を派遣し、復興を支援した。

[設問2]

資料Bに関連した以下の記述を読んで、 および に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

この〔イ〕の 革命に前後して、他の国でも類似した政治変動が生じた。たとえば、キルギスの 革命が知られている。

[設問3]

資料Cに関連した以下の記述を読んで、 および に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

この憲法に見られるように、〔ウ〕はイスラームの教えに立脚する国家建設を標榜した。近年では、様々な国で、イスラームの理念を厳格に順守すべきと主張する勢力が、政治的影響力を拡大する現象がみられる。中東・北アフリカ諸国では での独裁体制崩壊を皮切りに、「アラブの春」と呼ばれる政治変動が生じたが、その後イスラーム宗教政党が躍進した国が多い。また、内戦が生じた は、隣国から進出してきたイスラム国（IS）を自称する過激派組織によって、一部の地域を支配された。

[設問 4]

資料Dの革命に関連する記述として、正しいものを下から選び、その番号を

(63)	(64)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] この革命によって成立した新政権は、資料Dの布告と同日に採択された別の布告で秘密外交を批判したうえで、過去の政権が諸外国と結んでいた密約を暴露した。
- [02] この革命によって成立した新政権は、ジェノヴァ会議に正式参加して、フランスとラパロ条約を結んだ。
- [03] この革命を主導した政党の指導者は、亡命先のスイスからの帰国時に、交戦中のドイツを迂回することを余儀なくされた。
- [04] この革命後生じた内戦時には、穀物徴発のために集団農場建設が大規模に行われた。

[設問 5]

資料Eの国 [ウ] に関連した以下の記述のうち、正しいものを下から選び、その番号を

(65)	(66)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] この国は、第二次世界大戦中、連合国側の一員としてドイツと戦い、イギリス軍とソ連軍の駐留も認めた。
- [02] 第二次世界大戦後もアメリカ合衆国系企業に石油を独占管理される状況などをめぐり、民族主義者が反発を強め、この国の首相は1951年に石油国有化を実行した。
- [03] 石油国有化を実施した政権が倒れたのち、この国は、アメリカ合衆国系資本の後押しも受け、アメリカ合衆国に軍事基地を提供した。
- [04] この国とアメリカ合衆国は、この国の化学兵器開発をめぐって緊張関係にあったが、2015年にいったん妥協が成立した。

[設問 6]

資料Fに関連した以下の記述を読んで、

(67)	(68)
------	------

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

この計画は、当時長期独裁政権を敷いていた大統領が追放されたのち、農民指導者のサパタが打ち出したものである。その他の革命指導者としてはビリャが有名であり、ビリャ派は、対立する

(67)	(68)
------	------

 政権を承認した隣国に対して、国境侵犯事件を起こした。

[設問 7]

資料Gに関連して、この革命の指導者は

(69)	(70)
------	------

 である。また、この革命によって成立した政権は、隣国に倒された。その後、

(71)	(72)
------	------

 を指導者とした独裁体制が成立した。

(69)	(70)
------	------

 および

(71)	(72)
------	------

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 8〕

〔ア〕から〔オ〕に入る国名として正しい組み合わせを次から選び、番号を

(73)	(74)
------	------

 にマークしなさい。

	ア	イ	ウ	エ	オ
[01]	イラク	ウクライナ	イラン	メキシコ	ハンガリー
[02]	イラク	グルジア (ジョージア)	イラン	メキシコ	ドイツ
[03]	イラン	セルビア	アフガニスタン	スペイン	ハンガリー
[04]	イラン	グルジア (ジョージア)	アフガニスタン	スペイン	ポーランド
[05]	エジプト	ウクライナ	パキスタン	メキシコ	ドイツ
[06]	エジプト	セルビア	パキスタン	スペイン	ポーランド

〔設問 9〕

資料の A から G を、それぞれに関連する「革命」が生じた時期の古い順に並べたものを [01] から [06] より選び、その番号を解答用紙の

(75)	(76)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] D → F → G → E → A → B → C
 [02] D → G → F → A → C → E → B
 [03] D → G → F → A → E → C → B
 [04] F → D → G → E → A → B → C
 [05] F → D → G → A → E → C → B
 [06] F → D → G → E → A → C → B

〔語群〕

- | | | | |
|------------|-----------------|---------------|------------|
| 01. アサーニヤ | 02. アラブ首長国連邦 | 03. イエメン | 04. オマーン |
| 05. オリーブ | 06. オレンジ | 07. カーネーション | 08. カランサ |
| 09. カルデナス | 10. カール=リープクネヒト | 11. 黄色 | 12. 銀色 |
| 13. クウェート | 14. クン=ベラ | 15. サウジアラビア王国 | 16. サラザール |
| 17. シケイロス | 18. シリア | 19. ソマリア | 20. チュニジア |
| 21. チューリップ | 22. ディアス | 23. ティトー | 24. ナジ=イムレ |
| 25. バラ | 26. バーレーン | 27. ピウスツキ | 28. ヒトラー |
| 29. ひまわり | 30. ビロード | 31. ヒンデンブルク | 32. フアレス |
| 33. フランコ | 34. ブルドーザー | 35. ホルティ | 36. マデロ |
| 37. ユリ | 38. ヨルダン | 39. 緑色 | 40. ルワンダ |
| 41. レバノン | 42. ローザ=ルクセンブルク | | |

問 題 IV

以下の文章の空欄 (77) (78) から (83) (84) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ク) に関連する設問 1 から 8 について、指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

アルメニア人の歴史は古代にさかのぼり、小カフカス山脈の南、黒海の南東に位置するアルメニア高地を中心に展開してきた。この地では、^(ア)前 2 世紀頃にアルタシエス朝が始まり、その中心都市アルタシャトは、黒海沿岸の港とインドや中央アジア、中国を結ぶ交易の主要交通路上にあった。隊商にとって最適な条件が揃ったこの都市は繁栄するが、好立地ゆえに周辺の勢力による争奪の的となっていく。

アルタシエス朝は、前 1 世紀頃にはローマからの侵略をたびたび受けていたが、前 55 年にパルティアからの侵攻を受け、以降断続的に争いが続いた結果、紀元 10 年頃までに王朝は滅びる。しかし、ローマとパルティアの間で和約が成り、66 年、ローマ皇帝 (77) (78) によって戴冠されたトルダトがアルシャク朝を開く。

アルシャク朝は 3 世紀に滅び、387 年、ローマとササン朝ペルシアの間でアルメニアの分割支配が決定した。7 世紀半ばにアラブ人が勢力を拡張、アルメニアはカリフの支配に入り、とくに 8 世紀になって重税を負った。

9 世紀後半、^(イ)アッパース朝のカリフがアルメニアの^(ウ)アミールであるアショトにアルメニア王の称号を与えると、ビザンツ帝国の (79) (80) 朝初代皇帝バシレイオス 1 世もこれを承認した。これによりアラブの枷から解かれ、バグラト朝が栄える。この王朝は 11 世紀のビザンツ帝国による占領とセルジューク朝の侵入によって滅びるが、12 世紀にザカリアン家がアルメニアを復興した。しかしこの王朝も、フラグの侵入によって途絶える。

その後、15 世紀にアルメニアはオスマン帝国とサファヴィー朝ペルシアの支配下におかれた。オスマン帝国は一部の非ムスリムをズィンミーとして保護する政策をとり、アルメニア人も (81) (82) と呼ばれる共同体において自治を認められていた。

ときの支配国によってしばしば^(エ)迫害され、居住地から強制的に移住させられてきたアルメニア人にとって、通商にたずさわることは活路のひとつであった。^(オ)多言語を操り交渉力に長けたかれらは、とりわけ近代以降、黒海や地中海、インド、東南アジアでの交易に欠かせない存在となっていく。

18 世紀後半、ロシアはオスマン帝国と争いながら^(カ)南下政策を進め、1783 年カフカスに隣接する (83) (84) を併合したのち、さらにカフカスの侵略を続ける。1878 年のサン＝ステファノ条約はアルメニア人の地位改善を条項に含み、オスマン帝国によるアルメニア人への迫害を広く知らしめたが、ベルリン条約によってこの条項は反故同然となり、後年のアルメニア人虐殺を招くことになった。さらに、^(キ)オスマン帝国分割をめぐる列強各国の思惑が絡まり、セーヴル条約で一度承認されたアルメニアの独立は頓挫した。^(ク)最終的に独立を果たしたのは 1991 年のことである。

〔設問 1〕

下線部（ア）に関連して、同じ前 2 世紀頃における世界史上の出来事についての記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(85)

(86)

 にマークしなさい。

- [01] 朝鮮半島では、齊に仕えていた衛満が衛氏朝鮮を建てた。
- [02] バクトリアからギリシア人が西北インドに進出し、ヘレニズム文化をもたらした。
- [03] 漢の武帝が遠征を企て、西方に敦煌郡など 4 郡を、南方には南海郡など 9 郡をおいた。
- [04] ラティフンディアが広まっていたシチリア島では、2 次にわたり奴隷による大規模な反乱が起こった。

〔設問 2〕

下線部（イ）に関連して、アッパース朝の下、年代記の構成により『預言者たちと諸王の歴史』をまとめたのは

(87)

(88)

 である。

(87)

(88)

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関連して、イスラーム世界のアミールについての記述として誤っているものを下から選び、その番号を

(89)

(90)

 にマークしなさい。

- [01] 正統カリフ時代には、エジプトなどの征服地にアンダルスと呼ばれる軍営都市が築かれ、アミールが軍政をしいた。
- [02] コルドバを首都に興された後ウマイヤ朝では、当初君主はアミールの称号を用いたが、後にカリフの称号が用いられるようになった。
- [03] ブワイフ朝の君主は、バグダードの攻略後、大アミールとしてアッパース朝のカリフをその保護下においた。
- [04] セルジューク朝を興したトゥグリル=ベクは、バグダード入城後、大アミールでなくスルタンの称号を得たが、これは元々カリフへの敬称であった。

〔設問 4〕

下線部（エ）に関連して、世界史上でとられた異教徒に対する政策についての記述として、誤っているものを下から選び、その番号を

(91)

(92)

 にマークしなさい。

- [01] ウマイヤ朝はマワリーーに対して平等な扱いをしたため、それ以外の人々は不満を強めた。
- [02] オスマン帝国は、バルカン半島においてキリスト教徒の子弟を強制的に徴用し、イスラーム教に改宗させた。
- [03] 14 世紀のポーランドでは、カジミェシュ（カシミール）大王が離散ユダヤ人を受け入れた。
- [04] 16 世紀後半、ゴイセンと呼ばれる人々はフェリペ 2 世による異端審問の導入に反発して暴動を起こした。

〔設問 5〕

下線部（オ）に関連して、アルメニア人の「ある種非凡な商人気質」について、かれらは「ほとんど旧大陸全部を横断する道程を股にかけ、自分たちが会おうあらゆる国民の許で友好的な待遇を受けるこつを心得て」いる、と述べたのは、『永遠平和のために』（1795 年）を著した

(93)

(94)

 である。

(93)

(94)

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問 6〕

下線部（カ）に関連して、南下政策をめぐる出来事についての記述として、誤っているものを下から選び、その番号を

(95)	(96)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 1840年のロンドン会議により、オスマン帝国とイギリスの間に結ばれた不平等通商条約がエジプトに適用されるようになった。
- [02] 1848年、モラヴィアでスラヴ民族会議が開かれた。
- [03] イェルサレムの聖地管理権問題から発したロシアとオスマン帝国の戦争で、フランスやサルデーニャはオスマン帝国側についた。
- [04] 1856年のパリ条約によりロシアがベッサラビアから撤退し、モルダヴィアとワラキアが自治を認められた。

〔設問 7〕

下線部（キ）に関連して、それと同時期にさまざまな地域で民族運動が生じていた。この動きについて、下に示した（a）から（f）の出来事を古い順に正しく並べたものを [01] から [09] より選び、その番号を

(97)	(98)
------	------

 にマークしなさい。

- （a）ベンガル分割令の撤回
- （b）フィリピン革命
- （c）タバコ＝ボイコット運動
- （d）チベット独立の布告
- （e）維新会の結成
- （f）ウラービー運動

- [01] （b）→（c）→（f）→（a）→（d）→（e）
- [02] （b）→（c）→（f）→（d）→（e）→（a）
- [03] （b）→（f）→（c）→（a）→（e）→（d）
- [04] （c）→（b）→（f）→（a）→（d）→（e）
- [05] （c）→（b）→（f）→（e）→（d）→（a）
- [06] （c）→（f）→（b）→（a）→（e）→（d）
- [07] （f）→（b）→（c）→（d）→（a）→（e）
- [08] （f）→（c）→（b）→（e）→（a）→（d）
- [09] （f）→（c）→（b）→（e）→（d）→（a）

〔設問 8〕

下線部（ク）に関連して、ソ連の解体に伴い1991年に独立したアルメニアは、旧ソ連諸国が同年結成した独立国家共同体に加盟した。旧ソ連諸国のうち、

(99)	(100)
------	-------

 は独立国家共同体の発足時には参加しなかったものの、国内の紛争を受けて、1993年に加盟した。

(99)	(100)
------	-------

 に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔語群〕

- | | | | |
|----------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 01. アストラハン=ハン国 | 02. アゼルバイジャン | 03. アター | 04. アンティゴノス |
| 05. アントニウス | 06. イブン=ハルドウン | 07. ヴォルテール | 08. オクタウィアヌス |
| 09. カザフスタン | 10. ガザーリー | 11. カラカラ | 12. カラハン |
| 13. カント | 14. キプチャク=ハン国 | 15. クリム=ハン国 | 16. グルジア（ジョージア） |
| 17. ゲットー | 18. コーカンド=ハン国 | 19. サトラップ | 20. タバリー |
| 21. ダランベール | 22. ティマール | 23. テオドシウス | 24. トラヤヌス |
| 25. ネロ | 26. ヒヴァ=ハン国 | 27. ヒューム | 28. フィルドウシー |
| 29. ブハラ=ハン国 | 30. ヘラクレイオス | 31. ベラルーシ | 32. ポンペイウス |
| 33. マケドニア | 34. マームーン | 35. ミット | 36. ミナレット |
| 37. モンテスキュー | 38. ユスティニアヌス | 39. ラシード=アッディーン | 40. リトアニア |
| 41. ルソー | | | |